

2025
ニュージーランド ラグビーキャンプ
実施報告書



日本ニュージーランドセンター

2025NZ ラグビーキャンプ 《日程表》

日次	内容	
7/23 (水)	9:55-15:45 関西空港出発 MHO53便 クアラルンプールへ 21:10-11:25 (7/24) MH145 便で クアラルンプールからオークランドへ	機内泊
7/24 (木)	11:25 オークランド到着 入国審査、両替、迎えのバスで学校まで 14:00 学校到着、ランチ、オリエンテーション、スクールツアー 15:30-16:30 KBHS 生徒と共にラグビーセッション： 到着日のセッションは、高体連グループにケルストン BHS のラグビープログラムを紹介し交流を深めること、長時間のフライトによる時差ぼけを解消すること、そして何より楽しむことです。 16:45 ホストファミリーと引き合わせ	AKL
7/25 (金)	学校で終日ラグビーセッション： 9:25 Rugby Room 集合 9:25 ラグビービデオセッション+ホワイトボード 11:30 フィールドでコンタクト、ブレイクダウン、キャッチ＆キャリー 1:00-1:30 ランチ 1:30-3:15 フィールドセッション、キック、ディフェンス、アタック、セットピース	AKL
7/26 (土)	(9:15- 12:00 2ndXV の試合 vs MAGS が学校であります。見てもよいが前日にコーチに要確認。) 学校集合後、オークランド地区学校対抗試合：「KBHS 1stXV vs Dilworth」の試合観戦 (1 st XV 集合 11:30, 試合 13:00-) = 高体連 G は KBHS 1stXV 試合前ウォームアップから応援 17:00 学校に帰着	AKL
7/27(日)	ホストファミリーと過ごす	AKL
7/28 (月)	学校で終日ラグビーセッション 8:45 講堂集合(出欠確認) 9:00-9:20 Whanau Class (全校集会、学校からの伝達事項確認など) 9:20-10:55 Powhiri/Haka,(歓迎式典) MaoriCulture 10:55-11:25 休憩 11:30-1:00 Rugby セッション セットピース 1:00-1:40 ランチ 1:45-3:15 セットピース フォーカス	AKL
7/29 (火)	ラグビーセッション、授業参加、親善試合 8:45 講堂集合 9:00-9:20 Whanau Class 9:20-10:55 Buddy Class 10:55-11:25 休憩 11:30-1:00 フィールドで対戦形式のセッション (RugbyAcademy Year12 & 13クラス) 1:00-1:40 ランチ 1:45-3:15 ポジション別セッション 3:15- 親善試合:KBHS vs 高体連 試合後 アフターマッチファンクション、フェアウエルパーティ	AKL
7/30 (水)	09:00 学校集合後、空港へ MH144 30JUL AKL/KUL 13:00/20:30 13:00-20:30 オークランドからクアラルンプールまで 22:25-05:45 クアラルンプールから関西空港まで	機内泊
7/31 (木)	05:45 関西空港 到着	



Kelston Boys 'High School 正面玄関前にて

ケルストンボーイズ高校は、1963年に設立された、全校約800名の公立男子ラグビーライオンズ校です。

オークランド西部に位置し、国際性豊かでとてもフレンドリーな雰囲気の学校です。5つのスポーツアカデミーがあり、ラグビーを中心に、サッカー、クリケット、バスケットボールそしてホッケーに力を入れています。ESOLクラスはとても評判がよく、英語の得意でないインターナショナルの生徒にもしっかりと対応した授業がなされています。ホームステイ先も選定されたファミリーが、リアルニュージーランドを満喫出来るように、親身になって接するのがモットーです。

これまで数多くの卒業生が各国の代表になり活躍しています。2011年のワールドカップ中にオールブラックス代表100キャップを得たムリアイナや、長年セブンスのキャプテンを務めているDJ フォブスなどの大物が在籍していました。

ラグビー部は全部で6軍まであり、月曜～木曜にチームトレーニングやウェイトが行われ、土曜日に試合という流れとなります。コーチ陣はこれまでに優秀な成績を現役時代だけではなく、コーチとしても選手の育成を成し遂げてきました。シーズン中にはスーパーラグビーのオークランド・ブルースの練習を見学したり、プロの選手によるコーチングも受ける機会もあります。ケルストンボーイズ高校はラグビー部のこれまでの実績は国内ナンバーワンで、1989年、1995年、1996年、1999年そして2011年の5度、全国制覇を成し遂げております。また、セブンズも全国大会で5度優勝しており、特に2010年からは4連覇中のナンバーワンのチームです。これまでに数多くの選手をオールブラックスやパシフィックの国々へ輩出しています。代表的な選手は、ミルズ・ムリアイナ、インガ・トウインガマラ、スティーブン・ベイツ選手などです。

ラグビープログラム

ケルストンボーイズスクールには、経験のある優秀なコーチングスタッフが揃っており、国内でも常にトップレベルの成績を残し、毎年若い有能な選手を輩出しています。個別のラグビーアカデミープログラムをはじめ、海外のラグビーチームのクリニックなども提供しています。3月中旬にコーチとマネージャーがチーム構成を行います。それまでにラグビー学生は朝や放課後を利用してフィットネスやトレーニングを行います。

● 参加者: 参加教員2名 + JNZC 事務局 1名と生徒 22名の合計: 25名 (詳細は別紙名簿の通り)

コーチ:兵庫県立夢野台高校・1名、愛知県立一宮西高校/1名、

生徒: 東京都立石神井高校/5名、東洋大牛久高校/1名、慶應志木高校/7名、愛知県立名古屋西高校/4名、上宮高校/3名、兵庫県立尼崎工業高校/2名

●ラグビー技術指導コーチ：

Matt Howling : Director of Rugby & 1st XV Coach



彼自身も様々なチームでラグビーをプレーしていましたが、けがにより現役を引退し、24歳の時に指導者へと転身しました。これまでに、レッドブル・イグナイト NZ セブンズ、NZ バーバリアンズ U18(セブンズ)、モアナ・パシフィカ スーパーラグビーU20、ブルーズ スーパーラグビーU17・U18 など、数々のニュージーランド代表チームを指導してきました。現在は母校であるケルストン・ボーイズ・ハイスクールのラグビーディレクター兼 1st XV コーチを務めており、プロラグビー選手を目指す優れた若者の育成に力を注いでいます。ラグビーアカデミーの授業を担当し、地元の生徒はもちろん、日本からの留学生を含む国際的なラグビー学生の技術的・戦術的スキル向上を指導しています。彼は 2021 年・2022 年にケルストン・ボーイズ・ハイスクールの 1st XV チームを率いてオークランド州立高校大会で優勝に導き、さらに 2024 年にはノースハーバーU19 チームを率いて決勝戦でオークランド U19 チームに歴史的勝利を収めました。ラグビーに強い情熱を持ち、指導に対する献身ぶりで高く評価されています。

●実施概要：

第1日：7/23 (全国からの高校生 22 名、指導者 2 名は 7 月 23 日関西空港に集合、クアラルンプール経由でオークランドへ。

第2日：オークランド空港到着後、入国手続を経て学校へ。



学校到着後、ランチ、オリエンテーション、スクールツアー。

ホストファミリーと引き合わせ。

ラグビーセッション：

到着日のセッションは、高体連グループにケルストン BHS のラグビープログラムを紹介し交流を深めること、長時間のフライトによる時差ぼけを解消すること。



第3日：学校で終日ラグビーセッション



ラグビービデオセッション+ホワイトボード、
フィールドでコンタクト、ブレイクダウン、キャッチ＆キャリー
フィールドセッション、キック、ディフェンス、アタック、セットピース

第4日



学校集合後、オークランド地区学校対抗試合：

「KBHS 1st XV vs Dilworth」の試合観戦

(1st XV 集合 11:30, 試合 13:00-) = 高体連 G は KBHS 1st XV 試合前ウォームアップから応援

写真：試合後の KBHS 1st XV とともに写選手たちと

真:KBHS

第5日：ホストファミリーと過ごす。

第6日：全校集会出席。講堂で Powhiri(歓迎式典)/Haka のレッスンがあり、その後 Maori 文化体験。 教員の指導で Flax を使った伝統的な工芸品つくりを体験。





休憩の後、Rugby セッション セットピース



第7日：天候不良のため親善試合は中止。

講堂集合後 Buddyと一緒に授業へ。



体育館でポジション別セッション。



アフターマッチファンクションはコーチと高体連生徒達のみで行われた。

各生徒にはプログラム修了書が Matt コーチより授与された。